

「科学技術政策特論」からのお知らせ

～ 第12回講義は我が国の研究開発力・イノベーション力の抜本的強化がテーマです～

履修予定の有無に関わらず、学部生、文系、さらに教員の方のご聴講も歓迎いたします

日時 7月5日(金) 5講 (16:30-18:00)

場所 工学研究院
オープンホール
(B-201)

第12回

我が国の研究開発力・ イノベーション力の抜本的強化

文部科学省 科学技術・学術政策局長：本学OB
土屋 定之

土屋先生からのメッセージ

近年我が国では、世界の経済社会の急激な構造変化の中、科学技術イノベーションを含めて国際競争力が低下し、我が国の存在感が揺らいでいます。イノベーションに関する国際競争力ランキングで、我が国は2007年の4位から2012年には25位にまで急落しました。ハイテク産業のシェアは、中国が1995年の3%から2010年の19%に急伸する一方で、我が国のシェアは27%から13%にまで低下しています。そのような緊急事態とも言える中で、科学技術イノベーション政策を梃子に、我が国の未来をどのように切り開くのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。



土屋 定之 先生

1979年 北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了
科学技術庁入庁。メリーランド大学留学、宇宙開発事業団
ロサンゼルス事務所長、科技厅核燃料課長、文科省基盤
政策課長、総務課長、文化庁文化財部長、大臣官房長等を
経て現職。現在、センター・オブ・イノベーション構想を
はじめとする科学技術イノベーション政策の推進に日々
奔走されています。





科学技術政策特論 講義計画の変更のお知らせ

履修登録の有無にかかわらず、多くの方の聴講を歓迎いたします

時間

金曜日 5 講目 (16:30-)

場所

工学研究院
オープンホール
(B-201)

理工系大学院共通科目「科学技術政策特論」(2単位)は、**ほぼ全講義が国や地方自治体幹部によるリレー形式です**。科学技術を通じた社会の課題解決の在り方に関し、各行政分野の第一線の専門家の講義を通じて考察を深めてみませんか。

講義日	テーマ	講師
4月 5日	① 科学技術政策の現状と課題	大竹 暁 文部科学省 研究開発局審議官
9日	② 科学技術政策のメカニズム	行松 泰弘 工学研究院 教授
12日	③ 東日本大震災からの復旧・復興 ～インフラ復旧における 工学的手法の実践と検証～	尾澤 卓思 復興庁 参事官
19日	④ 情報通信政策の最新動向	谷脇 康彦 総務省 情報流通行政局審議官
26日	⑤ 食の安全をめぐる課題と政策のあり方	別所 智博 農林水産省 技術総括審議官
5月 10日	⑥ 我が国のエネルギー政策の課題と展望	中西 宏典 経済産業省 資源エネルギー庁審議官
17日	⑦ 母子健康手帳 —世界に類を見ない保健システム、医療 技術を国民のものにするために—	梅田 勝 厚生労働省 北海道厚生局長
24日	⑧ 北海道の科学技術振興政策	木場 保洋 北海道庁 総合政策部科学IT振興局長
31日	⑨ 交通運輸分野における技術政策	禮田 英一 国土交通省 総合政策局技術政策課 技術開発推進官
6月 14日	⑩ 環境政策を支える技術開発の 位置付けと展望	瀬川 恵子 環境省 環境保健部化学物質審査室長
21日	⑪ 次世代のイノベーションを担う 科学技術人材の育成	斎藤 尚樹 文部科学省 科学技術・ 学術政策局基盤政策課長
7月 5日 変更	⑫ 我が国の研究開発力・イノベーション 力の抜本的強化	土屋 定之 文部科学省 科学技術・学術政策局長
12日	⑬ 国際熱核融合実験炉計画 ～(ITER)について～	池田 要 国際熱核融合実験炉 (ITER)機構 前機構長
19日	⑭ 科学技術を通じた国際貢献	水間 英城 独立行政法人 科学技術振興機構 参事役(地球規模課題対応 国際科学技術協力担当)
26日 日程変更	⑮ 宇宙開発を取りまく環境と未来 ～準天頂衛星システム(日本版GPS) 開発を例にした国際協調と競争～	寺田 弘慈 宇宙航空研究開発機構 広報部長 (前準天頂衛星「みちびき」 プロジェクトマネージャ)
8月 2日	⑯ まとめ	行松 泰弘 工学研究院 教授

■担当：工学系教育研究センター 行松教授 ■内線：6908 ■Mail：ceed-int@eng.hokudai.ac.jp